

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《受託開始日》 令和3年5月6日（木）受付分より

## 《検査要項》

検査項目名称	サイトメガロウイルス核酸定量
検査コード	0619
JLAC10	5F194-1441-022-862-01
診療行為コード	160224550
検体量	血漿 1.5mL
保存・容器	必凍・YK
実施料（判断料）	450点（微生物）
所要日数	3～7日
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	1.5 LogIU/mL 未満 検出せず
備考	重複依頼不可
実施施設	LSIメディエンス

保険収載名称：サイトメガロウイルス核酸定量

保険注釈：サイトメガロウイルス感染症の診断又は治療効果判定を目的として、臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者又はHIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対し、血液を検体としてリアルタイムPCR法によりサイトメガロウイルスDNAを測定した場合に、単純疱疹ウイルス・水痘・带状疱疹ウイルス核酸定量の所定点数を準用して算定する。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、本検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

## 《 解 説 》

サイトメガロウイルス（Cytomegalovirus：CMV）はヘルペスウイルス科に属する二本鎖DNAウイルスです。多くの場合、幼少期に不顕性で感染し、潜伏・持続感染により人体に終生留まります。日本人の抗体保有率は80～90%とされており、ほとんどが成人に至るまでに感染を経ていると考えられています。

CMVは健常人に対しては、ほとんど病原性を示すことはありませんが免疫低下および不全状態にある場合に再感染したり、体内に潜伏しているCMVが再活性化されると重篤な病態を引き起こすことがあります。特に、臓器移植患者で免疫抑制剤投与化などにおけるCMV感染症は極めて重要な合併症であり、さらに同種造血幹細胞移植後のCMV感染症は移植後非再発死亡の主要な原因の一つとされており、嚴重な患者の管理が必要とされています。

本項目は免疫低下状態の患者におけるCMV感染管理に有用です。

## 《 注 意 》

- 専用採血管で採血後、遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出ください。
- 必ず専用検体としてご提出ください。